

さかいたけおの「母乳育児奮闘記」

さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック 塚 武男

第13回

3 - 5ヶ月から体重が増えないお子さん

出生時になかなか体重の増えないお子さんで、1 - 2ヶ月にかけて体重が増える、type 3 と私が呼んでいるお子さんがいることは多くの場でお話しさせて頂き、「初乳から卒乳まで」でもまとめています。

今回は3ヶ月頃までは体重は一日20gくらいですが増えているのに、その頃から体重の増えが悪くなり、一ヶ月に100g程度。おまけに身長伸びも停滞してしまうお子さんのグループについてまとめてみます。この赤ちゃん達は母乳の飲みはよく、分泌もそれ程悪くないのに身長・体重共に増えません。発達は悪くなく、血液検査をしても栄養的にも問題ないのですが図に示すような成長曲線のような経過を辿ります。

この様な赤ちゃんへの対応はどうすればいいでしょうか。

1. ミルクは足さないで離乳食を5ヶ月から開始します。よく食べてくれます。

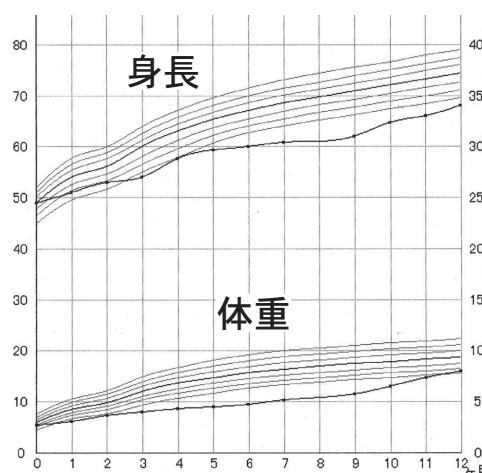
ここでミルクを足して経過観察しても構いませんが、そこは赤ちゃんの様子とお母さんの気持ちで決めていいと思います。ミルクを足しましょうと即行くとお母さんは「やっぱり私の母乳だけでは足りないんだ」という気持ちになります。母乳+離乳食で、ミルクは足さずに行きましょう」とお話しすると、お母さんは母乳育児を続けようという気持ちが継続されます。日本小児科学会も同様の方法を推奨しています（日本小児科学会雑誌、115：1363-1389, 2011）。

2. ところが離乳食をよく食べても体重はなかなか増えません

でも、離乳食を始めて、よく食べてくれて、6ヶ月から2回食にして、それもよく食べてくれますが身長・体重ともになかなか増えない状態が続きます。お母さん達は身長・体重がなかなか増えず心配が続きます。9 - 10ヶ月頃になるとようやく体重が増え始め、少し遅れて身長も伸び始めてきます（図参照）。この理由をよく分かりませんが殆どの赤ちゃんはこのコースを辿り、その後の発達と発育には問題はありません。ですので、5ヶ月から離乳食を開始する際に9 - 10ヶ月頃から増えることを伝えておきます。そうすると、増え始めると安心してくれます。

3. この赤ちゃんたちで気をつけることは？

単に体重・身長の伸びが悪いだけなのか（slow weight gain）、他に発育不良の原因があるか（failure to thrive : FTT）をしっかりと見極めることです。日本小児科学会はいたずらにFTTと診断し、正常の赤ちゃんに過剰の検査・治療を行わない様「小児科医の真価が問われる」と警告を発しています（同上）。何事もそうですが、こどもは一日一日発達・発育します。そのパターンは一人一人異なる場合が多々あります。one pointでその子の状態を決めつけることは絶対に避けたいものです。



■図の説明：3ヶ月頃から体重が停滞し、身長も5ヶ月頃から伸びなくなった最近の赤ちゃん。離乳食を5ヶ月から開始、よく食べる。6ヶ月から人工乳も60ccを2回補足。9ヶ月頃から身長・体重が増え始め、人工乳も飲まなくなったため、母乳と離乳食のみで経過観察している。発達は良好である。